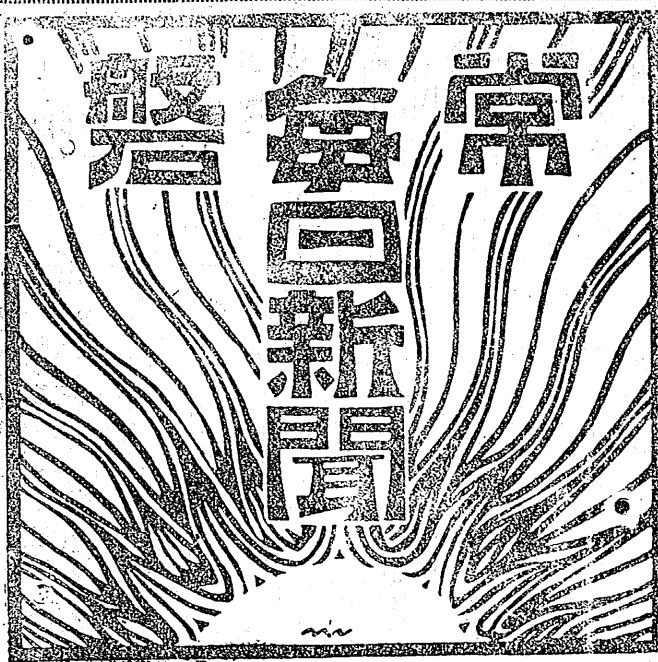


發行兼編輯人 川崎文治
印刷所 本報印刷部
電話 三三三三



刊夕日四月六

定部金貳圓 廣五號十二
郵稅五厘 廣告費一
料(五十錢) 行
日刊(休) 日曜大祭
日祝(日) 日
印刷所 本報印刷部
電話 三三三三

町平
議員 當選御禮 (四)

多大の御同情と御後援に依り當選の榮を擔へたる
段難有御禮申上候

町會議員 鷹崎貞衛

多大の御同情と御後援に依り當選の榮を擔へたる
段難有御禮申上候

町會議員 阿部政右門

多大の御同情と御後援に依り當選の榮を擔へたる
段難有御禮申上候

町會議員 花澤久一郎

多大の御同情と御後援に依り當選の榮を擔へたる
段難有御禮申上候

町會議員 丹野榮三郎

多大の御同情と御後援に依り當選の榮を擔へたる
段難有御禮申上候

町會議員 柏原眞吾

町會議員 星野清吉
町會議員 會川卯三郎

開店御披露
今回精米業を開業し米穀類の御求めに應ずる事となりましたから是非御引立を願上ます
本町長橋町廿七番地
關内精米店
店主 關内信二郎
電話(呼一六〇番)

村會議員 候補者 加藤丈夫君
ヲ推薦シ極力其當選ヲ期ス
内郷村小島區民一同
全小島青年一同

正價 四十五圓
のところが
特價提供
ユ一ホン號
三吾
特價
會田時計店
電話三六三

粹で上品な履物は
御求めの際には
是非
三井百貨店
平町四丁目
電話百四十四

マラ競走大會
六月七日(第一日曜日)本社主催四倉・平間七哩競走
出場選手は同六日午後五時
まで平支局まで申出でられ
たく奮つて参加せられんこ
とを希望す
河北平支局
新報

化粧用
カクニ石
壹個十錢
平町四丁目
ツルヤ
電話百四十四

株式賣買中値
電話に金融
致し

銘格	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五三、五
平銀行	五〇〇	六八、〇
同新	一一、五	一七、五
磐越銀行	一一、五	一〇、五
磐城銀行	五〇〇	四二、〇
磐城買替	三五、〇	二八、〇
田村買替	一一、五	一一、五
四倉銀行	一七、五	一七、五
農工銀行	二〇、〇	二五、〇
同新	一五、〇	一八、五
百七銀行	五〇、〇	五二、五
同新	一一、五	一四、五
七七銀行	一一、五	九、〇
東部電力	五〇、〇	四八、〇
同新	二五、〇	二二、五
只見川電	一一、五	七、五
植田水電	一一、五	一六、五
二本松電	一一、五	一四、五
磐城製菓	一一、五	一六、〇
磐城製菓	二〇、〇	一、五
植田物産	三〇、〇	一三、五
平製氷	二五、〇	二六、五
好間軌道	五〇、〇	一八、〇
入山新	三三、五	二五、〇
小田炭礦	二五、〇	一四、〇
磐城炭礦	五〇、〇	七、〇
同新	二二、五	四一、〇
磐城セマン	五〇、〇	一八、〇
同新	三五、〇	六〇、〇
平運送	一一、五	四〇、〇
同新	一一、五	六、五

平町田町 電話三三三番
丸登株式店
川添房二郎

寄書
二つの見方 (二)

政界通人
成る程これも一つの見方に相違なしと雖も亦他方に於ては政友會が二派協調内閣に快よからず而して次の内閣は自黨を以て組織せざるべからずして日々夜々活動しつつある状態は明瞭にして、彼等の計畫しつつある處にして實行せられんか或は遠からずして内閣の基礎に動搖を來すべしと思はるれども併しながら政友會當初の計畫は悉く失敗に終り、大合同が彼の如き状態に陥りて其の成す處政權懸

に出發せるを思はしめて、貴族院内及一般政界よりは險惡の念を以て迎へられつゝあるが上に合同運動は如何に力を盡すも豫定通り運ばず、而も犬養氏の引退は政友會に向つて大打撃を與へたる状態にあるが、安達氏の入閣は内閣の基礎を一層強固にしたる形なるを以て、政友會が如何に政策問題を以てするも憲政會として堂々と争ひ倒れて後止むの方針に出づるより外に途なく、而も天下の信望未だ憲政會を去らず、貴族院方面及び各方面に於ても更に此の問題をして何事をか成さしむるべからずと云

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める
平町長橋町三五
川崎回文庫
(申込次第規則書進呈)

平町の町制も夢みて 新町議の理想

附たり伏見町長の希望

本縣に於ける古參郡長であつた現警務局長青沼録太郎氏は平町の新議員として拘負の一端を語る「當町は市制に焦るよりも先に内實を圖る計畫として公會堂の建設

下水の 改修等も急

を要する然しそれも負擔の過重を虞れなければであるが先決問題は町の資力で

氣呵成には行くまいが先づ著々と内容充實に努めて然る後に市制施行だ」と次ぎに新議員を迎へる伏見町長は「今回の選挙には少々の無理がなく悉々く

新顔に なたつた向後

手を携へて當町の大をなさしむるものには平小鐵道の敷設から水害防備而して南面發達を圖り南裏一帯を宅地化して他方面の企業者を歓迎したい從來事業家に危ぶまれた悪い水も水道になつたから他方面からの氣受

純化さ れて来た此

の際急を要するものは水害除去で其他自分は諸計畫に誠意を以て當る以上確かに同意して呉れるものと思ふ」と語つた

所得稅調査委員は

四對一の比率が至當

政派多數の意見

話頭にのぼる候補の顔振れ

既報半稅務署の所得稅調査委員は政憲兩派協調を保ち三對二の比率にて無競争を以て選挙すべき妥協税もあつたが政派多數の意見は

管内に 於ける兩派

の分野より見るに現在通り四對一を以つて至當とする説可成り有力を占むるに至り明日午後一時から三丁目山本屋にて是れが協議を纏め種々對策を決定する由であるが結局政派からは

現委員 の金成通、

伊藤淺之助、青沼録太郎の三氏及び諸橋久太郎氏に代るに山崎與三郎氏、憲派からは驚久藏、木田織江の兩氏で現委員漆畑元吉氏は引退するといふ

炭價低落から

炭礦の苦境

經營難に陥る 財界の不況による需要減退と無順九州炭の壓迫により

石城郡下の常警各炭礦は炭價の下落から何づれも採算不引合となり經營難に陥り石城郡川部村の東海炭礦は去月末日かぎり閉鎖目下休業中である

平署の二階を

擴張して増築の計畫

署長室を始め六室を増加

設計書が出来た

平警察署は事件数多きこと縣下第一の稱ある事として事務多忙を極め従つて從來の廳舎にては狹隘を告ぐるに至り執務上の能率にも非常の影響ある處から二階を擴張増築すべく樫村署長は警務局長に設計書を命じて置いた處本日設計書が出来したが夫れに依ると現在二階の後方に卅五坪の二階を繼ぎ足し警務補の取調室二室を始め署長室、高事務室、刑事室、司法内勤室の六室に分割するものであつて是れが實現すれば執務上の便宜至極多かるべく工費は約五千圓位であらうと

若妻の失敗

幼兒を壓殺

石城郡好間村大字上好間字山下日立礦山好間變電所電工千代記の妻久保江トク

(一)は二日夜半長男千里(二)を添乳して熟睡中乳房にて壓し死せしめ過失致死として取調中

平 酌婦取締

壯丁の爲めに

石城郡にては目下徴兵検査執行中にて各町村の青年が平町に宿泊する爲め此際南

できます、このやうな爪の持ち主に飲食物を取扱はせる事の危険は申上るまでもありません。丁度蠅が様々の病菌を傳播するやうなものです。故に飲食物製造人は特に爪の清潔に心がけねばなりません。細菌のついた爪で鼻をほちくつたり皮膚をかいたりするとクサと



爪の衛生

爪の間に留つた黒いものを顕微鏡にさらすと幾種類とない病原菌を發見する事が

家庭 庭 欄

常磐片々

十一日には初町會、新議員連の三番叟、鳴り物はコチラが引請ける

此三番叟を見ればフリ役が大根が多いからと馬鹿にはするな、大根もなければ芝居は出来ぬ

石城の山奥から花のお江戸へ運び出されて貴衆兩院のお役を務める木材もある

人間なるもの此際至る處青山ありと一奮發の要あり

石城の奥から 貴衆兩院の

用材が出る

平警務局長は石城郡上小川村大字萬渡の大森林から伐採される巨木が交通不便の爲め幾度公告しても入札者のないのに困り切つた揚句頭をひねつて案出したのが官行製材で恰度貴衆兩院が十年の繼續事業として建築中である處から議院建築の用材として搬出する事になり目下日々廿五石内外を加

工製産して居るから石城の山奥に枯木として朽ちかゝつて居た巨木が帝國議會を飾る椅子や卓子や其他の板

などに使はれるのも近き將來となつた

高野會開かる 平町

長橋町青年有志の諸曲稽古機關である喜多流高野會は選挙の爲めに暫く休んで居たが昨日から再び毎夜開く事となり頗る盛んであると

水産試験場の

無電を擴張

波長を變更

本縣水産試験場陸上無線電信所と磐城丸無線電信所の交信は三百メートルの送信波長を使用してゐるが漁業遠隔の際には往々交信不能の事が多く種々調整方法

町附近の銘酒屋に於ける酌婦が風規を亂す様平署の取締嚴重を加へて居る

農業實地指導

石城郡にては八日より十一日迄技術員撥出にて各町村の苗代及び蚕飼育の實地指導を行ふ由

玉川火防宣傳

石城郡玉川村にては火防及び衛生に關する注意書を村内に配布した

不平受付

投票歡迎

ビラの後始末 選挙の宣傳ビラは選挙が終れば當選者が協定して直ぐハガす事に定つて居る等ですが未だ其の儘になつてゐる甚だ見苦しい、一警察署に骨折りを願つて後始末をよろしく願ひ度いと思ひます

樫村署長の答

選挙後には直ぐハガす事になつて居るのですが新議員が其方法の打合せが出来なかつたのです、来る十一日に初町會なさうですから其際に相談する様話しを運ぶ積りで

六月五日ヨリ

國寶名畫公開

實寫中村吉工門船乗之實況

探偵劇 最後の瞬間

主演 カレル フランシス

松竹キネマ新撮影(封切)

國寶名畫 護國の神

乃木將軍少年時代

うつし世を、神さりまし、大君の御跡慕ひて、我は行くなり

松竹浦出新進若手名花出演

若葉照子、筑波雪子、大主演

新劇 新乳姉妹

大観劇 脚色野田高梧 監督島津保次郎

懐しの蒲田

全五巻

松竹直營

電四六六

平館

平館

平館

平館

平館

平館

平館

平館

平館

平館

平館

平館

平館

平館

平館

平館

平館

平館

平館

平館

平館

平館

平館

平館